

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 非高齢者と比較した転倒を起因とした高齢者の下顎骨骨折の検討

[研究責任者] 岡崎市民病院 医局 歯科口腔外科 統括部長 齊藤輝海

[研究の背景]

外傷は年齢、生活様式、運動能力などによって受傷の仕方が変わってきます。高齢者の外傷の原因は転倒が最も多く、顎顔面領域の骨折は下顎骨が最も多いとされています。高齢者の下顎骨骨折は食事摂取困難となり、寝たきりの原因となることがあります。また、我が国の高齢者は、1年間で10~20%が転倒し、そのうち約10%が骨折に至ると言われています。高齢者の外傷の実態を知ることは、ケガの予防や対策、治療の効率化につながると考えられます。

[研究の目的]

高齢者の転倒を起因とした下顎骨骨折の実態を明らかにする目的で検討を行う。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2006 年 1 月 1 日から西暦 2022 年 12 月 31 日の間に当院で下顎骨骨折の診断、治療（検査）を受けた方

●研究期間：西暦 2023 年 4 月 1 日から西暦 2024 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：画像検査（通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。）

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、受傷場所、飲酒の有無、意識喪失の有無、血液検査、画像検査所見

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個

人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

岡崎市民病院 歯科口腔外科 齊藤輝海

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913